

第32回全国育樹祭開催概要

開催方針

全国育樹祭は幅広い国民運動としての国土緑化運動の一環として、活力ある緑の造成気運を高め、次代への連帯性を深めることを目的として開催されています。

森林が国土の7割を占める愛媛県では、平成13年を「森林そ生元年」と位置付け、森林の持つ公益的機能の重要性を改めて認識し、その恵みに感謝するとともに、森林を県民共有の財産として大切に守り育て、次の世代にしっかりと引き継いでいくため、県民参加による「森林と共生する文化の創造」に積極的に取り組んでいるところです。

そこで、この取り組みを全国に向けて広くPRするとともに、私たち一人一人が森林を守り育て、活力ある健全な森林をつくりあげていくという気運をより一層高めるため、「第32回全国育樹祭」を開催するものです。

大会基本コンセプト

「循環」

先人が植えた木々は世代を超えて生まれ、森林となって現在へと受け継がれました。
その森林から、日々恩恵を享受している私たちの手によって、明日へと引き継ぎ森林づくりを行います。

大会テーマ 「育てよう 緑あふれる 日本の未来」

開催日 平成20年10月25日(土) お手入れ行事
10月26日(日) 式典行事

開催場所 ○お手入れ会場／「久谷ふれあい林」(松山市久谷町)
○式典会場／「愛媛県武道館」(松山市市坪西町)
○サテライト会場／東予会場(西条市小松町)
南予会場(西予市野村町)

式典参加者数 約3,300人

主催 社団法人国土緑化推進機構、愛媛県

協賛 全国森林組合連合会、社団法人全国林業改良普及協会

育樹祭行事

【お手入れ行事】

皇太子殿下による昭和天皇・香淳皇后お手植え木(スギ)に「森林土壌生成促進材」の散布

【式典行事】

- プロローグ(式典前アトラクション)
- 式典

- | | |
|------------------|------------------|
| 1.開会のことば | 8.みどりの贈呈 |
| 2.三旗入場・緑の少年団入場行進 | 9.緑の少年団活動発表 |
| 3.三旗掲揚 | 10.メインテーマアトラクション |
| 4.主催者あいさつ | 11.誓いのことば |
| 5.歓迎のことば | 12.大会宣言 |
| 6.皇太子殿下のおことば | 13.次期開催県あいさつ |
| 7.表彰 | 14.閉会のことば |

- エピローグ(式典後アトラクション)

併催行事

【育林技術交流集会】

特別講演・パネルディスカッション

開催日／平成20年10月25日(土)
開催場所／久万高原町産業文化会館
(上浮穴郡久万高原町)

参加者／県内外の育林技術者等 約500名

【全国緑の少年団活動発表大会】

全国及び開催県を代表する緑の少年団による活動発表と交歓集会

開催日／平成20年10月25日(土)

○活動発表大会
開催場所／愛媛県生涯学習センター
(松山市上野町)

参加者／約500名

○交歓集会
開催場所／ウェルビア伊予(伊予市下三谷)
参加者／約400名

記念行事

【森林・林業・環境機械展示実演会】

全国機械メーカーによる最新鋭機械の展示・実演
開催日／平成20年10月26日(日)、27日(月)
開催場所／今治新都市第2地区(今治市)
参加者／約8,000名



大会テーマ等の紹介

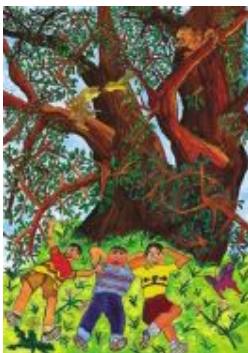
大会テーマ

「育てよう 緑あふれる ^{にほん}日本の未来」

佐藤 晴紀さん(久万高原町立明神小学校5年) ※公募時

日本の未来は活力ある緑あふれる環境の中で、森林と共生する文化の創造によって支えられ、発展していくという思いが力強く伝わってくる作品

ポスター原画



画題「緑の中で」

二宮 楓太さん
(大洲市立新谷小学校5年) ※公募時

鮮やかな色彩で動物たちと一緒に豊かさを喜び楽しんでいる様子がのびのびと描かれており、大きな木の下には楽しげに横たわっている自分たちを描き、画面に変化を与え、見る者を楽しくほっとさせてくれる作品

大会キャラクター



「E~もりくん」

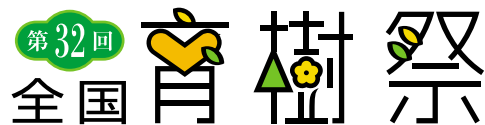
デザイン作者 池田 正誉さん(松山市)

えひめの森を吹き抜けるさわやかな風、その風に髪をなびかせ森を育む愛媛の子供たちを表現するため、EHIMEの「E」の文字をモチーフに、明るく元気に森を守り育てる愛媛の子供をイメージしてデザイン化

愛称作者 高月 悠馬さん
(松山南高等学校1年) ※公募時

EHIMEの「E」の文字をモチーフとしたデザインの趣旨を生かし、Eと木を守り育てていくイメージを感じさせる愛称

大会ロゴタイプ



式典音楽専門委員会
デザイン戦略検討部会委員
エヒメデザイン協会会長
山内 敏功さん



お手入れ会場

<久谷ふれあい林>

昭和41年に開催された第17回植樹行事並びに国土緑化大会の会場で、昭和天皇・香淳皇后のお手植えのスギを中心に40年生を超える豊かな森林へと生長している。